その他の循環器疾患

心臓弁膜症・心筋症・閉塞性動脈硬化症（ASO）

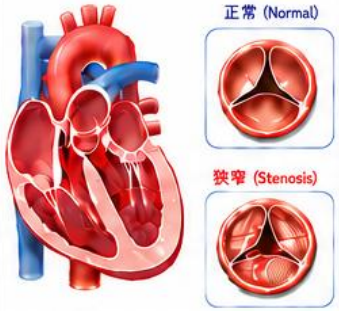
早期発見・適切な治療・継続的なフォローアップで、心臓と血管の健康を守ります。

1 心臓弁膜症

心臓の弁の異常により、血液の流れが悪くなる病気です。

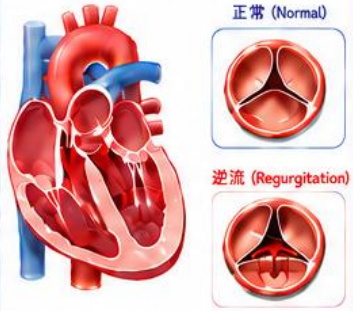
大動脈弁狭窄症・閉鎖不全症

大動脈弁狭窄症 Aortic stenosis



大動脈弁が狭くなることで、左心室から大動脈への血液の流れが悪くなります。

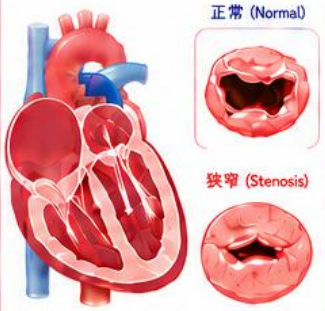
大動脈弁閉鎖不全症 Aortic regurgitation



大動脈弁がうまく閉じないため、心臓が拡大し、左心室に血液が逆流します。

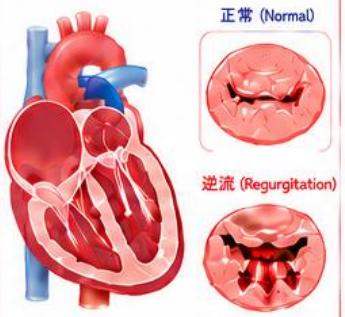
僧帽弁狭窄症・閉鎖不全症

僧帽弁狭窄症 Mitral valve stenosis



僧帽弁が肥厚・癒合し、弁口が狭くなることで血液が左心房から左心室へ流れにくくなります。

僧帽弁閉鎖不全症 Mitral regurgitation



僧帽弁がうまく閉じなくなり、左心室から左心房へ血液が逆流します。

当院の心臓弁膜症に対する取り組み

詳細な評価と早期発見
心エコー検査を中心に、弁の狭窄や逆流の程度、心機能への影響を詳細に評価し、定期的にフォローします。

最適な治療タイミングの判断
症状・検査所見・心機能を総合的に判断し、治療介入が必要となる最適なタイミングを見極めます。

専門医療機関と連携
外科手術（弁形成術・弁置換術）やカテーテル治療（TAVIなど）が必要な場合、提携する高度医療機関と連携し、迅速に適切な治療へつなげます。

治療後の継続フォロー
治療後は当院で継続的にフォローを行い、再発や合併症の予防、心機能の維持に努めます。

合併症の包括的管理
心不全や不整脈（心房細動など）、血栓症などの合併症、高血圧・動脈硬化の管理、生活習慣の改善指導を行います。

2 心筋症

心臓の筋肉に異常が生じる病気で、心不全や不整脈、突然死のリスクかがあります。

拡張型心筋症（DCM）
心臓が大きく拡張し、心筋が薄くなることでポンプ機能が低下します。

肥大型心筋症（HCM）
心筋が厚くなり、血液を送り出しにくくなります。若年者の突然死の原因となることがあります。

不整脈源性右室心筋症（ARVC）
右心室の筋肉が脂肪や繊維組織に置き換わり、不整脈を起こしやすくなる病気です。

当院の心筋症に対する取り組み

正確な診断と総合的評価
心エコー・心電図・ホルター心電図・CT・MRIなどを用いて、病態やリスクを総合的に評価します。

個別最適化された治療
薬物療法を中心に、病型や重症度に応じた最適な治療方針をご提案します。

ご家族を含めた評価
遺伝性が疑われる場合は、ご家族を含めた評価やフォロー体制をご提案します。

デバイス治療への対応
デバイス治療（ペースメーカー・ICD）が必要な場合は、専門医療機関と連携し迅速に対応します。

3 閉塞性動脈硬化症（ASO：末梢動脈疾患）

足の動脈硬化により血流が低下する病気です。

主な症状

- 間欠性跛行（歩くと足が痛くなり休むと改善する）
- 足先の冷え、しびれ
- 傷が治りにくい　など

重症化すると
潰瘍・壊疽　→　切断のリスク

ASOは全身の動脈硬化のサインです。
心筋梗塞・狭心症・脳梗塞のリスクも高まります。

当院の閉塞性動脈硬化症に対する取り組み

早期発見・評価
ABI 検査や下肢血管超音波検査で、下肢の血流状態を評価します。

保存的治療と生活習慣の改善
禁煙・運動療法・食事療法・薬物療法で動脈硬化の進行を抑制します。

必要に応じた専門医療機関への紹介
カテーテル治療や外科的治療が必要な場合は、迅速に専門医療機関へご紹介します。

全身の動脈硬化管理
高血圧・脂質異常症・糖尿病などの危険因子を総合的に管理し、心疾患や脳血管疾患の予防にも取り組みます。

当院は、心臓と血管の健康をトータルでサポートします

気になる症状や健康診断で異常を指摘された方は、お気軽にご相談ください。

専門医による診療　精密検査　地域連携　長期的なフォロー